

わたし／ぼくの新しいプリスクール



本書のすべての画像は、1968年著作権法 (Copyright Act 1968 (Cth)) に基づいてNSW教育省が所有し [iStock Getty Images Content License Agreement](#) の下ライセンスが付与されています。

これが新しいプリスクールの入り口です。



背中に背負うプリスクールのバッグがあって、プリスクールにつくとそれを決められた場所に置きます。



ランチボックスとウォーターボトルをプリスクールに持っていきます。のどがかわくと自分で水を飲みます。



プリスクールでかぶる帽子があります。外で遊ぶとき、お日さまから自分を守るためにかぶります。



プリスクールでは大人たちが面倒をみてくれて、いろいろなことを習うのを助けてくれます。悲しくなったとき、大人にそう伝えると、気分が晴れるように助けてくれます。友だちに優しくするようにとみんなに言ってくれます。



プリスクールには、前から遊んでいる友だちもいるし、新しい友だちもいます。でも、一人だけで遊びたいような気持ちになることもあります。



プリスクールでは遊ぶ物がたくさんあります。毎日、自分がしたいことを選びます。楽しんで新しいことを習うのが好きです。



部屋の中で遊ぶときは、紙や箱で何かを作るのが好きです。悲しくなったら、家にいるときと同じようにブロックで遊びます。



外で遊ぶときは、走ったり、遊具の高いところに上るのが好きです。砂遊びも好きです。



お遊びの時間が終わると、おもちゃを片付けるのを手伝います。
自分たちのプリスクールを大切にして整頓するのは良いことです。



ときどき、子どもたちと大人たちが一緒に新しいことを学んだり、歌を歌ったりします。そして、ちょうど家ですのと同じように、自分たちのことをみんなと話します。



鼻水が出るときは、ティッシュを取って鼻をかみます。かみ終わったら、忘れずにティッシュをごみ箱に捨てて、手を洗います。



プリスクールには大きなバスルームがあります。トイレに行く必要があるときはバスルームに行きます。そして終わったら、トイレの水を流して手を洗います。



せっけんと水で手を洗って、乾かします。手を洗うことをぜったいに忘れません。元気でいられるように、必ずばい菌を全部洗い流すようにします。



他の子どもたちと一緒にランチを食べます。食べ物の包装を外せないときは大人に手伝ってもらいます。強く元気でいられるように、いつも身体に良い物から食べます。全部食べ切れないときは、残りを包んで、家に持って帰ります。



ランチの後は、静かにする時間です。子どもたちは全員、本をながめたり、パズルやお絵描きをしたりして、何か静かなことをします。体が疲れるといつでも横になって休憩します。



家に帰る時間が近づくと、バッグに自分の物を入れて背中に背負って、帰る準備をします。



プリスクールが終わると、大人の人すべての子どもたちをピックアップします。



帰るときは、笑顔で大人たちと子どもたちにさようならを言います。「遊んでくれてありがとう。またね。」と言います。みんなが帰っていくと、プリスクールは閉まります。

